

# 第3学年 国語科学習指導案

日 時 平成21年 9月30日(水) 5校時  
対 象 男10名 女5名 計15名  
指導者 高瀬 節子

- 1 単元名 大事なことをたしかめよう (光村図書 下)  
主教材名 「すがたをかえる大豆」 (説明文)「食べ物がかせになろう／本で調べる」  
補助教材名 「ミラクル ミルク」 (学校図書 上)

## 2 単元について

### (1) 児童について

児童はこれまでに、2年上「たんぼぼのちえ」で、時間の順序や理由を示す言葉に着目し、その役割に気づくという学習をしてきた。また、2年下「サンゴの海の生きものたち」では、事柄の順序に気をつけて内容の大体をとらえる学習をしてきた。そして、3年上「ありの行列」では、「問い」と「答え」、中心となる語や文をとらえて要点をつかむ学習をした。

これらの学習を通して、説明文に興味を抱いて読む児童は増えてきている。また、時間の順序を表す言葉に着目して、内容を考えることもできるようになってきている。しかしながら、大事な語や文を自力で見つけて内容を読み取る力はまだ弱い。また、段落相互の関係を把握するのにも時間を要する。

児童は、3年になって大豆を花壇に植えて育て、枝豆ができる様子を見ているので、大豆には興味がある。しかし、納豆やきなこを知っていても大豆とは関係づけられない児童が多いと思われる。身近な食品が、大豆の加工されたものだと知れば、驚きをもって読み進め、意欲的に学習に取り組むのではないかと考えられる。

### (2) 教材について

小学校学習指導要領国語科第3学年及び第4学年の「読むこと」における目標は、「目的に応じ、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら読む能力を身に付けさせるとともに、幅広く読書しようとする態度を育てる。」である。

本教材「すがたをかえる大豆」は、身近な食べ物である大豆を題材とした説明文である。そこでは、大豆の味と栄養を保つための工夫として、大豆の加工法を紹介している。その大豆の加工食品は見ただけでは大豆からできているとは思われない意外性があるので、興味をひく内容であると思われる。また、説明文の中の5つの加工の種類ごとにおいしく食べる工夫について読み取っていくことで、大豆と身近な食品との関係や昔の人々の知恵のすばらしさを驚きをもって読み進めていくことができる。文章構成としては、大きく3つのまとまりに分かれており、接続語を手がかりにすれば、大豆がすがたをかえていくことの論理の展開もつかみやすい解説型の文章となっている。

補助教材「ミラクルミルク」は、ミルクが3つの食品に加工され、おいしく栄養のある食べ物にしている工夫が書いてある説明文である。それゆえ、主教材の既習内容をもとに、書かれている内容のまとまりをつかむことができると考える。また、後の書く活動にも参考となる教材である。

### (3) つけたい力と読みの方法 【つけたい力】 読みの方法

#### 【中心となる語や文を見つけて要点をとらえる力】

- キーワードに着目しながら整理して内容を読む。  
・具体と抽象の読み分け・繰り返し語句・接続語

主教材のキーワードは、「大豆をおいしく食べるくふう」であるので、「くふう」という言葉に着目させる。中心となる文を見つけるには、具体と抽象を意識して読み分けていく。具体的に説明されている文を削除していくと、まとめとなる抽象の文を見つけることができる。そうして、見つけた中心文を短くして、要点を書くようにしていく。

まずは、①②の段落で要点をまとめる方法の学習を一斉指導で行っていく。この活動によって、具体的な方法を子どもたちがとらえることができるようにする。そして、③

段落以降は、①②の段落で学習した方法を使って、ペア学習も織り込みながら、一人ひとりが自分の力で要点がまとめられるように進めていく。

補助教材においても、繰り返し出てくる語「ミラクル」に着目しながら読み取っていく。

**【文章全体における段落の役割を考えながら読む力】**

○段落相互の関係を考えながら内容を読み取る ・接続語・小見出し
------------------------------------

主教材は、文章全体が「はじめ」「中」「終わり」の3つに大きく分けられていることをつかませる。解説型の説明文であり、初めに対象物（大豆）の提示をし、それについての説明（五つの工夫）を施し、まとめとなる文章構造になっていることに気づかせたい。補助教材も、似たような文章構造であるので、比較することを通して、より文章構造がわかりやすくなる。「次に」「また」「さらに」「このように」などの接続語を押さえることによって、段落相互の関係をとらえることができることにも気づかせていく。

また、一つの段落の中での文の並び方が、1文目に抽象、その後具体となっている作者の書きぶりを扱い、1文目にまとめが書かれていると内容が分かりやすくなるというよさにも気づかせたい。そして、書く活動につながっていくように、読み取っていく。

**3 単元の目標と評価規準**

	単元の目標	評価規準
国語への 関心・意欲・態度	○ 食べ物について書かれた読み物や図鑑などに興味をもって読もうとする。	・身近な食べ物に興味をもって、読み物や図鑑などを読んで調べようとしている。
書く能力	◎ 身近な食べ物について、情報を収集したり取捨選択したりしながら、段落に分けて文章にまとめることができる。〈書くこと イ〉	・身近な食べ物について、書こうとすることの中心を明確にして、段落に分けて文章を書いている。
読む能力	◎ 中心となる語や文をとらえて段落相互の関係を考え、食べ方の工夫を読み取ることができる。〈読むこと イ〉	・キーワードをもとにして、中心となる語や文をとらえて段落相互の関係を考え、食べ方の工夫を読み取っている。
言語についての 知識・理解・技能	◎文章全体の組み立てを考え、段落の役割を意識しながら読んだり書いたりすることができる。〈言語事項 ク〉	・文章全体の組み立てを考え、段落の役割を意識しながら読んだり書いたりしている。

**4 単元の指導計画と具体的評価規準（20時間扱い）**

段階	時	学習活動	国語への 関心・態度・意欲	書く能力	読む能力	言語についての 知識・理解・技能
見 通 す	1	○学習の見通しをもつ。 ・題名をもとに大豆を使った食品について発表する。 ・教材文を読み、感想をもつ。 ・新出漢字、難語句の学習をする。	「すがたをかえる大豆」について興味をもって読もうとしている。 (発言、ノート)			新出漢字の筆順に気をつけたり、難語句を調べたりしている。(ノート)
	2	・形式段落に番号をつける。 ・キーワードを考え、学習計画を立てる。	おいしくする工夫に着目し、学習課題を立てようとしている。(発言)			形式段落に番号を正しくつけている。 (教科書)

深 め る	3	○それぞれの段落の要点をつかむ。 ・①～⑨段落を読む。 ・中心文を見つける。 ・短く要点を書く。①～④			詳しい説明の文を削除して中心文を見つけている。 (プリント)	
	4 本 時	・⑤～⑨段落を読む。 ・短く要点を書く。 ・段落の中の文の並び方の共通点を見つける。			中心文を短くして、要点をまとめている。 (プリント)	
	5	○内容のおもしろさを読み取る。 ・①②段落を読む。 ・大豆についての話題提示をつかむ。			大豆に手を加えておいしくする工夫をしていることを読み取っている。 (発言)	
	6	・③④段落を読む。 ・大豆をおいしく食べる工夫(1、2)について読み取る。			炒ったり煮たりした工夫を読み取っている。 (発言・プリント)	
	7	・⑤⑥⑦段落を読む。 ・大豆をおいしく食べる工夫(3、4、5)について読み取る。			違う食品にしたり、取り入れ時期や育て方を変えたりする工夫を読み取っている。 (発言・プリント)	
	8	・⑧⑨段落を読む。 ・多くの食べ方が考えられた理由を読み取る。 ・3つのまとまりに分ける。			2つの理由を読み取っている。 (発言)	接続語に着目しながら初め・中・終わりの3段落に分けている。 (発言・ノート)
	9	○段落の役割をとらえ、文章全体の構成をつかむ。 ・それぞれの段落に小見出しをつける。 ・文章の構成を確認する。			まとまりを考えて小見出しを書いている。 (発言・プリント)	
	10	○学習したことを生かす。 ・補助教材「ミラクルミルク」を読む。 ・文章全体の大まかな内容をとらえる。			3つのミラクルを見つけて、要点を書いている。 (プリント)	
	11	・文章全体の構成をつかんで、3つに分ける。 ・段落の中の文の並び方を「すがたをかえる大豆」と比べる。			文章の構成をつかみ、表現のよさを読み取っている。 (プリント)	

広 め る	12	○調べたい食べ物についての情報を収集する。 ・「食べ物はかせになろう」を読み、調べたことを文章にまとめるまでの流れをつかむ。			身近な食べ物についてのべ方やまとめ方を読み取っている。 (発言)	
	13	・調べたい食べ物を決める。 ・学習計画を立てる。	調べたいことを決め、進んで計画を立てようとしている。 (発言、ノート)			
	14	・「本で調べる」をもとに、本での調べ方を知る。 ・本で調べ、分かったことを情報カードに書く。	調べ方に見通しをもっている。 (発言)			
	15	・本で調べ、分かったことを情報カードに書く。		必要なことを自分で理解しながらカードにまとめている。 (カード)		
	16	○情報を整理し、本を作る。 ・情報カードを整理する。 ・カードをもとに、組み立てを考える。		情報を関連づけてまとめ、ある程度のまとまりに分けている。 (プリント)		
	17	・カードをもとに、文章を書く。		情報カードのまとまりごとに、分かりやすく文章を書いている。 (プリント)		
	18	・推敲する。  ・清書する。				漢字・文字・主述の呼応・接続語の使い方・改行が正しいか確認している。 (原稿用紙)
	19	・本を作る。		表紙・前書き・奥付を書いている。 (作品)		
	20	・作品を読み合い、互いに評価し合う。		友達の作品を読み、感想を書いている。 (カード)		

## 5 本時の指導

### (1) 目標

形式段落の中心文を見つけ、要点をとらえることができる。

(2) 評価の観点と具体的評価規準

観点・具体的評価規準	A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 支援を要する児童への手立て
読む能力	段落の中心文を進んで見つけて要点を短くまとめ、その書き方の効果に気づいている。	段落の中心文を見つけて要点をまとめている。中心文が1文目に書かれ、具体的な説明が2文目以降に書かれていることに気づいている。	詳しく書いてある所を削除するとともに、キーワードをおさえて要点をとらえられるようにする。

(3) 展開

段階	学 習 活 動 ○発問 ・期待する児童の反応	教 師 の 関 わ り 方 ・留意事項 ◎評価
見 通 す  5 分	1 前時の学習を想起する。 ○①②③段落の要点は何でしたか。 ・①大豆は、いろいろな食品にすがたをかえているため、気づかれない。 ・②いろいろ手をくわえて、おいしく食べるくふうをしている。 ・③その形のままでいったり、にたりするくふう。 ・④こなにひいて食べるくふう。	・前時に、説明の文を線で消して、まとめの文(中心文)を見つけて要点を書いていたことを振り返り、本時への意欲をもたせる。
	2 学習課題を確認する。 ⑤段落から⑨段落の中心文を見つけて、要点をまとめよう。	・まとめの文(中心文)を見つけていくことを確かめる。
	3 読みの視点を確認する。	
深 め る	4 学習範囲を音読する。	・指名読により、学習範囲を確認する。(⑤⑥⑦⑧⑨段落)
	5 段落の要点をとらえる。 (1) ⑤段落を読んで、中心文を見つける。	・プリントの教材文を見て、詳しい説明の部分に線を引いて消していくことによって、中心文が見つけれられるようにする。 ・中心文の中の大事な語句を見つけて、できるだけ短く要点を書くようにする。
	(2) 全体で要点をまとめる。 ・大切なえいようだけを取り出して、ちがう食品にするくふう。	
	(3) ⑥⑦段落を読んで、自分で中心文を見つけ、要点をまとめる。 ・⑥ 小さな生物の力をかりて、ちがう食品にするくふう。 ・⑦ とり入れる時期や育て方をくふうした食べ方。	・⑤段落での手法をもとに、一人学びを進めることを確認する。 ◎自分で中心文を見つけて、要点をまとめることができたか。(プリント)
	(4) ⑧段落を読んで、全体で要点をまとめる。 ・大豆はいろいろなすがたで食べられている。	・⑧段落の中心文は、とらえにくいので、教師が示し、全体で要点をまとめるようにする。
(5) ⑨段落を読んで、要点をまとめる。 ・大豆のよさに気づき、食事にとり入れた昔の人々のちえにおどろいた。	・一文であるので、簡単に扱う。	

深 め る  33 分	<p>6 ⑤⑥⑦段落の筆者の書きぶりを読み取る。</p> <p>○三つの段落を比べて、似ているところはどこですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・段落のはじめにつなが言葉が使われている。</li> <li>・最初の文で、「くふう」が書いてあり、その後の文で「作り方」が書いてある。</li> <li>・最初に「まとめ」の文があり、その後はその「説明」になっている。</li> </ul> <p>○このように書いていると、どんなよい点がありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・何が書いてあるのかが分かりやすい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペア学習を入れて、話し合う。</li> <li>・⑤⑥⑦段落の教材文の拡大コピーを掲示し、比較しやすいようにする。</li> <li>・筆者が中心文を段落の最初に書く手法で分かりやすくしていることに気づかせ、後の書く活動へつなげていくことができるようにする。</li> <li>◎筆者の書きぶりのよさに気づくことができたか。(発言)</li> </ul>
ま と め る  7 分	<p>7 本時の課題についてまとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>⑤大切なえいようだけを取り出して、ちがう食品にするくふう。</p> <p>⑥小さな生物の力をかりて、ちがう食品にするくふう。</p> <p>⑦とり入れる時期や育て方をくふうした食べ方。</p> <p>⑧大豆はいろいろななすがたで食べられている。</p> <p>⑨大豆のよさに気づき、食事にとり入れた昔の人々のちえにおどろいた。</p> </div> <p>8 まとめの音読をする。(⑤～⑨段落)</p> <p>9 今日の学習を振り返る。</p> <p>10 次時の学習内容を知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・板書を振り返りながら、要点を確認する。</li> <li>・要点を意識しながら、一斉読させる。</li> <li>・自己評価をさせ、本時の学習でわかったことや驚いたことなどを発表させる。</li> <li>・次は、詳しく①②段落から読み取っていくことを知らせる。</li> </ul>

(4) 板書計画

教材文	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	段落		
	大豆のよさに気づき、食事にとり入れた昔の人々の	大豆はいろいろななすがたで食べられている。	目に見えない小さな生物の力をかりて、ちがう食品にするくふう。	とり入れる時期や育て方をくふうした食べ方	大切なえいようだけを取り出して、ちがう食品にするくふう。	よ う 点	か 題	す が た を か え る 大 豆  国 分 ま き え
							⑤段落から⑨段落までの中心文を見つけて、要点をまとめよう。	